

# おんじゅく

The Onjuku Koho

75-11

昭和50年

第146号

千葉県御宿町役場発行



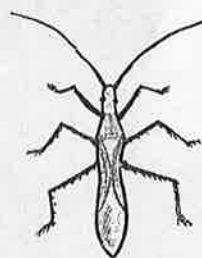
インフルエンザの予防注射 注射のきらいな  
児童が一人泣きだすと みんながもらい泣き

# 実った!! 水稻の航空防除

## 品質は郡内のトップに



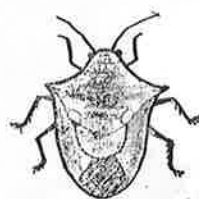
① ヘリコプターが薬剤散布の目的地へ向けて出発② 薬剤散布の効果が見え、良質の水稲の収穫が果たされた



クモヘリカメムシ  
体長 16mm



ホソハリカメムシ  
体長 9、11mm



トゲミラホシカメムシ  
体長 5、6mm



斑点米とカメムシ類

等級 部落	2等	3等	4等	5等
	須賀	0	77.8	22.1
岩新	0	75.0	25.0	0
和田	3.7	70.9	17.7	7.7
高山	0	51.9	48.1	0
山田	1.5	79.4	18.8	0.3
久保	4.0	85.4	10.5	0.1
久保	2.3	74.0	22.0	1.7
久保	4.3	84.9	10.6	0.2
七本	0.6	60.5	35.1	3.8
七本	2.9	88.6	8.5	0
実谷上	0.6	59.8	35.9	3.7
実谷上	4.4	83.0	12.6	0
"中	0	75.5	24.4	0.1
"中	5.2	81.0	13.3	0.5
"下	5.2	65.7	27.8	1.3
"下	6.9	83.6	9.5	0
新久井	0.6	69.4	28.5	1.5
新久井	6.8	86.3	6.5	0.4
小幡	1.7	80.3	17.4	0.6
小幡	17.1	79.0	3.5	0.4
立山	0	66.4	31.6	2.0
立山	14.6	74.6	10.3	0.5
新宿	1.6	79.4	16.7	2.3
新宿	21.2	76.8	2.0	0
計	1.48	71.59	24.83	2.10
計	8.13	82.0	9.66	0.21

上段昨年度昭和49年度実施

昭和50年度実施

### お米の検査成績

	%	
	49年	50年
2等	1.48	8.13
3等	71.59	82.00
4等	24.83	9.66
5等	2.10	0.21

50年産米のうち検査の対象となつたのは10,452俵

町では数年前から毎年6〜7月の出穂期にかけて、水稲の航空防除を行ってきましたが、その成果が着々とあがってきました。昨年は、高山田、久保、須賀地区の百ヘクタールにとどまった防除区域のために、町全体としての

なぜヘリコプター防除を町が推進しているかというと、個人防除では十アール当り二千円程度要し

## 安全なうえに安上がり

このほか町の補助が六百八十円つき、実際の農家の負担は九百二十

このため、病害虫のカメ虫類をく除するとともに稲の病気（イモチ、モンカレ病）を防いだため

た成績が、ことしは第一位の成績をおさめ、県下全体でも上位に位置づけられました。

効果があられませんでした。しかし最近になって、農薬の微量散布技術の開発が進み、ヘリコプターの飛行回数が少なく、しかも山間地でも散布できるようになったため

い地区との差が歴然としています。八月下旬から約一ヶ月にかけて行われた産米検査の結果によると上位等級米といわれる二、三等米が四十九年産米では出荷量の七三%

## もう一つの敵 イネドロオイムシ

多発が予想されるイネドロオイムシの防除について、ご説明しましょう。

郡内では、大喜町を中心にして多く、町では七本地区に多発が認められました。発生時期は五月中旬から下旬にかけて多く、一株あたり二十から三十四ほど見られます。

防除対策は、幼虫のふ化最盛期終了から初齢の盛期が防除適期で五月二十五日から三十日ごろです。

一方、ヘリコプター防除による被害も全然ないとはいえず、たとえば過去にヘリコプターの騒音によって、にわとりが卵をうまなくなつたとか、家畜やコイ、金魚などに直接農薬がかからないようにするなど、住民に余分な気苦労を与えてはいますが、散布技術の向上や住民の理解が高まるとともにこれらの問題も解決されてきました。

また作業についても個人で行う場合は仕事が終わった夕方、からの疲れたときに行うため、どうしても農薬による事故が多くなつてきます。これに反して、ヘリコプター防除は経費も安く、人手もかからず効果が高く、しかも農薬による事故を防ぐなど数々の利点のもとより、収量の増加、品質の向上、農作業の時間短縮によってほかに労働を求めめることもでき、これらによって当然、農家は収入も多くなります。このため町では、この好成绩に気をよくして、これからも防除計画をさらに拡大して行く計画です。

これからは、田植え後一〜二週間くらいして発生する稲のドロオイムシのく除など新たな問題も起りつつありますが、住民の理解と努力でこの難敵を退治し米の増産に力を合せていきたいものです。

## 町の家計簿 (49年度決算) を公表

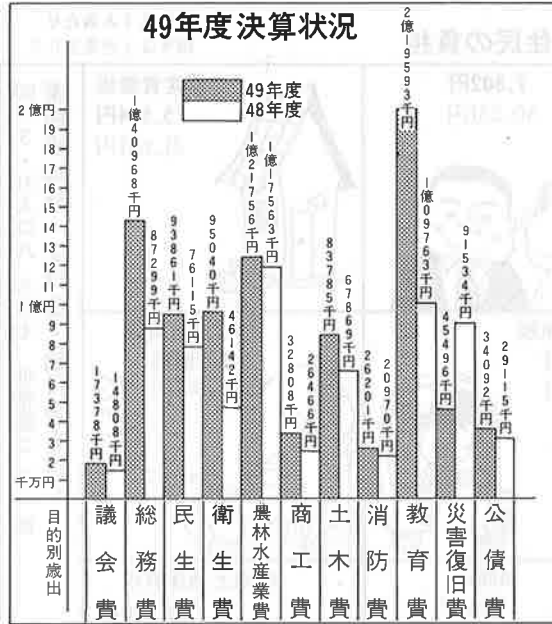
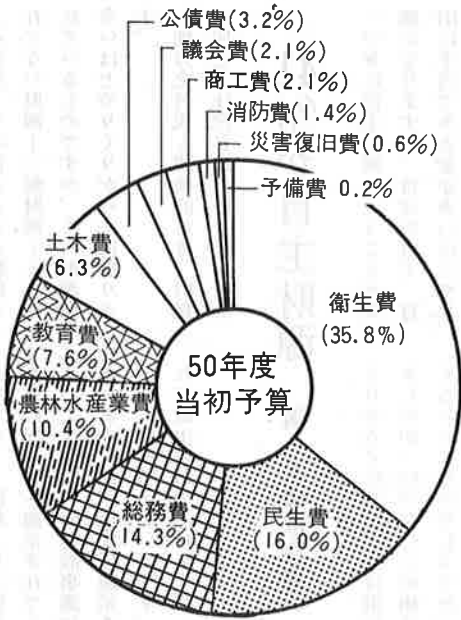
# 町民との約束は守られた？



49年度に行った主な事業の一つ 実谷ダムの仮排水路工事

ことしも町の家計をお知らせする時期がきました。これは財政事情の公表といわれ、町条例によって、年2回公表するように定められているものです。11月に公表するものは、前年度の決算のようすや、その年の予算、財産、借入金、住民負担などがどうなっているかを、みなさんにお知らせすることにしました。

町の予算は、住民との間にかわした「契約書」と同じです。町民との契約が守られたかを見るのが決算です。みなさんから納めていただいた貴重な税や国から借りた多額のお金が、どのようにいかされたかを発表し、みなさんのご批判をいただくものです。



### 49年度のおもな事業

- ◇歴史民俗資料館 (7,276万9,000円)  
鉄筋コンクリート平家建422㎡
- ◇岩和田漁港修築 (3,559万1,000円)  
防波堤の延長工事(継続事業)
- ◇岩和田小学校特別教室(7,782万8,000円)鉄筋コンクリート2階510㎡,  
理科室, 音楽室, 家庭科室, 普通教室各1, 電気, 給排水工事
- ◇上水道の創設事業 (1億283万7,000円)  
仮設道路, 第1工区延長383.5m, 第2同120m (幅6m) 837万8,000円, 仮排水路, 延長252.52m, 4,134万2,000円, 堤体基礎グラウト工事, ポーリング延長3,560m, 4,080万円 (継続事業)

交付税は国税三税(所得税、法人税、酒税)の三二%が国から地方公共団体に交付されますから、これら三税の動向によって、大きく左右されますが、四十九年度の額は、国税の落ち込みの影響がほとんどなく、前年度比四千七百九十万五千円の増となりました。以

地方交付税は、予算額に対して三千四百七十万円増、普通交付税と特別交付税がありますが、特別交付税については、全額留保しました。

### やはり地方交付税が主体

付金とともに見込んだ額より伸びが大きく五百七十万円ほどふえました。

特別土地保有税は、予算に対して千三百九十三万円ふえ、四十八年度から保有していたものに対する税が大半でした。なお、町税の決算額に占める割合は一八%で人件費(一億八千百万円)に満たない額となりました。

### 歳入 税収の伸び好調

町税予算は、一億五千七百七十六万六千円で、歳入額は、一億七千万六千七百六十五千五百八十三円。収納率九五・三八%。

予算額は、景気の落ち込みなどで住民所得や法人の利益、土地売買などが少なくなると予想して、編成されました。しかしながら、

土地譲渡による所得や事業所得が順調に伸び個人の町民税が前年度より二九・八%増、法人分も二五・四%と大きな伸びを示しました。固定資産税は、前年度に比べ、土地の評価があがった(平均二七%)家屋の新増築による評価額の増などによる増収がおもなもので

# 49年度決算のあらまし

## 49年度住民の負担

太字は1人当たり  
細字は1世帯当たり

町民税 <b>7,802円</b> 30,331円 	固定資産税 <b>5,564円</b> 21,631円 	50・3・31人口八、六〇七、世帯数二、二一四 滞納繰越分・交付金・納付金を除く
軽自動車税 <b>196円</b> 762円 	たばこ消費税 <b>2,265円</b> 8,805円 	
電気税 <b>896円</b> 3,484円 	特別土地保有税 <b>3,220円</b> 12,517円 	
国民健康保険税 <b>8,105円</b> 31,509円 	合計 <b>28,048円</b> 109,039円	

## 41%が自主財源

### 国・県の依存強い

上が普通、その使いみちが制限されてない財源—一般財源—といわれているのですが、この財源が多いほどやりくりがらくになります。地方交付税も間接的には、町税と同じく住民負担ということにな

つぎに自主財源ということが問題になりますが、自分の町で、自由に手当てできる金が多いほどやり

くりがらくになることは前にふれましたが、いったいこの額はどのくらいになるのでしょうか。

りますが—国税として国に納めたものが役場へ還元されてくる—このような収入が建設事業にたくさんあてられ、住民に還元されていることが望ましいのです。(これは歳出の項でふれます)

**自主財源—**地方税、分担金負担金、使用料及手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入などで、この額は、三億九千三百十二万二千円で、歳入全体の四〇・九%(前年度三五%)と増加しています。残り五九・一%は国、県に依存した財源(国、県支出金、地方交付税など)このほかに使

いみちが限られている特定財源は二億七千三百二十四千円となり、おり、建設事業などに国、県が補助してくれるものや、保育所の運

営費や災害復旧事業。選挙や統計など国からたのまれた事務の経費

などにあてられた歳入です。



岩和田小学校音楽教室での授業

## 歳出 消化は不良なし

歳出決算の概要は、つぎのとおりですが、目的別に分類して額の多かつたものは(前ページ参照)

教育費、総務費、農林水産業費、衛生費、民生費などが上位で、これらの予算執行率は、教育費の九九・八八%。総務費九八・八九%。農林水産業費八七・四九%。衛生費九六・九五%。民生費九五・八三%といずれも予算、決算のずれ

は少なく予算執行は順調におこなわれたといえます。

## 建設事業は順調にふくらむ

性質別経費—大きく別けて投資的経費と消費的経費とに分けられます。消費的経費は、人件費、物件費維持補修費、扶助費、補助費など

長期借入金現在高 (50・3・31現在)

事業区分	事業内訳	49年度末借入金現在高 千円	町民1人当り 借入金残高 円
一般公共事業	漁港整備事業	17,009	1,976
一般単独事業	町道・農林道・消防施設	60,468	7,025
公営住宅建設事業	町営・漁民・福祉住宅	5,190	603
義務教育施設整備事業	小中学校々舎・屋内体育館	83,335	9,682
災害復旧事業	公共土木・農地・施設・林道災害	24,575	2,855
一般廃棄物処理々	ごみ焼却場	4,378	509
厚生福祉施設整備事業	保育所・児童館・火葬場	47,136	5,476
市町村民税減税補てん債	減税補てん債	148	17
都道府県貸付金	一般町道・学校建設	40,328	4,685
計		282,567	3,283

で、これらの額の総額は、三億七千九百七十九万七千円で、歳出全体の四二・九%を占めています。消費的経費は、つとめて節約をしましたが、人事院の大幅な勧告によって、人件費が三四・二%ふえ

その額は、四千六百三十六万四千円（前年度より増）となり、歳出全体で二〇・五%を占めています。そのほか扶助費、公債費を含めた義務的経費は、二億四千三百九十万四千円で、歳出全体の二七・五

公有財産

項目	土地 (地積 m <sup>2</sup> )			
	昭和48年度末現在高	昭和49年度中増減高	昭和49年度末現在高	
本庁舎	12,343		12,343	
その他の行政機関	909		909	
公共用財産	小学校	40,192	△ 560	39,632
	中学校	17,524		17,524
	高等学校			
	公営住宅	18,506		18,506
	公園	58,504	2,892	61,396
	その他の施設	35,549	△ 72	35,477
山林				
その他				
計	183,527	2,260	185,787	
普通財産	宅地	11,960	790	12,750
	畑	4,728		4,728
	山林	4,135	△ 50	4,085
	その他	471,220	△ 861	470,359
計	492,043	△ 121	491,922	

%を占め、前年度とくらべて三一・六%ふえています。そのほかの維持補修費、補助費はいずれも前年度より減少しています。

投資的経費は、四億四百二十万五千円で、歳出全体の四五・七%前年度より三七・八%増と総体に抑制的な予算編成のなかにあつてこのように高い比率になつたこと

は、やはり住民のみなさんが町政に対し、関心が高かつたといえます。全体の傾向としても、人件費などの毎年きまつて支出される経費—経常的経費というものが多くなるなかで、積極的に公共施設の整備が進められたことは、財源の乏しい当町にとつて明るい面といえます。

50年度予算編成方針

ムダをはぶいて  
公約実現に努力

長期借入金は町民一人当り三千余円  
財産、長期借入金、住民負担の状況などは、別表を参考にしてください。

昭和五十年年度の国の予算は、物価の安定を図るため引き続き抑制的な基調を堅持する方針のもとに国民生活の安定と福祉の充実に配慮するとともに経済情勢の推移に対応して機動的、弾力的な運営を図ることを基本として編成されました。

しかし、当然増経費（人件費、扶助費など）の急上昇により、財政の硬直化が表面化し、公共事業費の伸び率はゼロに近いという削減となりました。

このため、国、県の財政依存度の高い当町にとつて、五十年年度の経済、社会情勢は一段ときびしい

歳入財源内訳 (単位千円)

	金額	構成費%	49年度
1. 国県支出金	153,550	15.4	162,169
2. 地方債	42,500	4.3	75,500
3. その他の財源	337,983	34.0	56,342
4. 一般財源	460,967	46.3	333,289
計	995,000	100.0	627,300

一、町の総合開発の推進  
二、漁港の整備

重点施策

はかりながらつぎの施策を重点として本年度予算を編成しました。  
として国の補助金、公債等の活用を  
的に遂行していく必要がある、効率  
仕事をよりいっそう計画的、効果  
福祉の向上にきわめて影響を持つ  
財政の健全性を確保しつつ、住民  
算編成の基本方針を十分配慮し、  
の財政運営にあたっては、国の予

ものとなった。

昭和50年度実施予定主要事業

(単位千円)

事業名	規模	本年度 予算額	財源内訳				説明
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
岩和田保育所建設事業	350㎡	53,000	24,500	20,000		8,500	鉄筋コンクリート平屋建
岩和田小学校特別教室建設事業	196.4㎡	7,000				7,000	校長室 45㎡ 図書室他 151.4㎡
消防施設整備事業	77㎡	2,500	260			2,240	上布施立山消防水利77㎡
上水道建設事業		310,000			310,000		ダム堤体工 浄水場取付道路 浄水場機械設備
観光整備事業		6,570				6,570	駐車場 サンドスキー下整備事業 2,000 須賀駐車場道路舗装 3,000 記念碑照明 270 記念碑水道 1,000 岩和田便所 300
岩和田漁港修築事業	防波堤 m L=1,444.0	58,800	46,500	5,000	6,750	550	
御宿漁港整備事業	北船揚場舗装 630㎡	5,200	1,560		1,820	1,820	
交通安全施設整備事業	L = 200m W = 1.5m	4,200	2,800			1,400	停車場久保線歩道整備
道路改良事業		27,000	2,100	10,000		14,900	堂前西林寺線舗装 7,000 須賀浜久保線改良 3,000 旧保育所脇舗装 1,500 扇町地先舗装 2,500 サンドスキー入口舗装 2,000 久兵衛川護岸工事 2,000 六軒町住宅道路舗装 1,000 岩和田関連道路側溝整備事業 3,500 梅ノ木線改良工事 3,000 浜の谷河川護岸工事 1,500
小幡立山農道舗装事業	L = 660m W = 6m	16,000	5,860	7,500		2,640	ガードレール L = 250 m
災害復旧費		4,150	2,944			1,206	日照川災害工事 コンクリートブロック 右岸L=5.0m 左岸L=33.0m

三、農林道、町道の整備  
四、上水道事業の推進  
五、保育所の整備  
六、教育施設の整備

七、観光の振興  
八、農漁業の振興  
○ 予算分析のおもな指数等  
○ 子算の前年度比較 伸び率五

八・六%  
○ 町民一人当たり予算額一十一万五  
六〇〇円  
○ 投資的経費五億一八〇七十一千

円。  
○ 義務的経費二億八二四一八千  
円。  
○ 町税総額一億二五六三万円。



49・50年度の主な事業

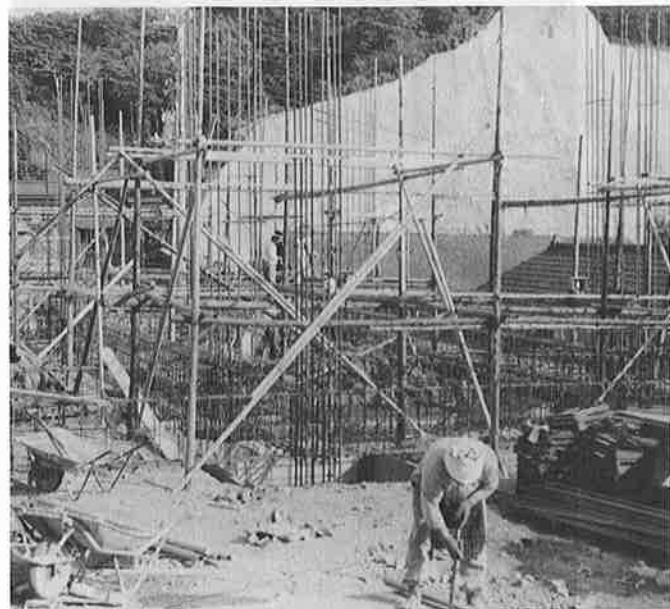


岩和田漁港の防波堤工事  
(49年度)



歴史民俗資料館  
(49年度)

梅ノ木線道路の改良  
(50年度)



岩和田保育所改築工事の骨組み(50年度)



# 町民あげて楽しく

## 「スポーツと文化の秋」

十月十日の体育の日から十一月三日の文化の日まで、この間は町をあげてスポーツに楽しみ、生活に密着した文化や生活展に日ごろのたい積した心労を忘れ、老若男女が一堂に会し、催しに参画した期間でした。保育園や小学校の運動会、体育文化祭と行事が続きましたが、この行事のなかから、スナップ写真で、そのときの模様をふり返ってみることにしました。



大会を盛りあげた聖火の到着



にわか新婚さん！意気がびったり  
目的地下田へむかって力走

気合をこめて メンの取りあい



みんな元気な歩け歩け



## ピッチあがる

### 漁港拡張工事

岩和田漁港修築事業五カ年計画は三年目をむかえました。ことは、予算額一億円をかけ防波堤工事、八七m、消波工(テトラポットによる波よけ)がおもな工事となっています。テトラポットを多量に作り、これを海中に並べ波をおだやかにして、防波堤づくりを容易にしようというものです。



ことしも岩和田漁港の修築工事が続けられる消波用テトラポットが次々とつくられていく



三人むかで競走 足並みがそろわないと先へは進めない



卓球一般の部決勝の熱戦

かわいい園児たちの遊び





五倫文庫（資料館内）で読書にふける学生さんや児童

## 五倫文庫を育てよう

# 世界の教科書が約2万冊も

### 文庫のあらまし

日本に学制がしかれて以来（明治四年、一八七一年）初等教育―

小学校、戦後は中学校を含む―で使われた教科書をおさめた文庫で

## 五倫文庫の名前の由来

明治三十五年（一九〇二年）九月房総を直撃した大台風で、御宿小学校は倉庫一棟を残し全校舎倒壊の悲運にありました。日露戦争の最中で国の援助に期待すべくもなく、また当時わずか八百五十戸の寒村だった御宿村は、村の財政では到底校舎を再建することができませんでした。教室がなくなった村の子供たちは、お寺に分散してとりあえず授業を始めましたが、

校舎再建の見通しはとでもなつどころではありませんでした。時の小学校長伊藤鬼一郎先生は、村長式田啓次郎氏とともに毎戸、毎日五厘（一銭の半分）の日掛貯金を自分たちの子供のためにしてゆくことと説いて廻り、明治四十一年（一九〇八年）五月から全員の賛成のもとに実行されました。そして明治四十五年（一九二二年）五月から大正三年（一九一四年）七月までは

毎戸二倍の一銭とし実に九年間にわたり一戸の脱落者もなく成し遂げたのです。そして村民の努力の結晶である三万円余（現在の価値で約一億八千万円）をもって、独力で七三七坪の立派な新校舎を建てたのです。当時、たまたま御宿町を訪問された佐倉連隊区司令官黒田善治少将はこの話を聞かれ感服し、「五厘」は「人倫五常の五倫」に通ずるとして「五倫堂」と名付け扁額を贈られたのです。以来、御宿小学校は五倫堂御宿小学校と呼ばれるよ

高い理想を実現するために活動資金を募集しております。あなたのご寄付で、この地道な活動が一段と活発になるでしょう。ぜひご協力くださいよう。

あなたの家におじいさん、おとうさん、またあなたの使った初等教科書がありましたら、当文庫にご寄贈くださるようお願いいたします。

## 資金、古い教科書の寄贈を

今後発行される内外の初等教育教科書、ならびに古い教科書の収集をし、あわせて青少年の健全育成と産業開発に資する図書を広くあつめるつもりです。

そして、内外の有識者に研究の材料と場所を提供し正しい初等教育の実践を図りたいと思います。

## これからの活動

うになりました。当文庫もこれらちなんで名付けられたわけです。御宿町が文教の街として、その名を千葉県のみならず全国に知られているのも、私たち祖先の貴い汗の賜があったからです。

す。あなたが習ったなつかしい教科書を見つかることがきっとできるでしょう。五倫文庫は、さらにさかのぼって、寺小屋で使われた徳川時代の本や世界各国の各年代にわたる初等科の図書も、ひろくあつめています。文庫は、明治二十五年（一八九二年）当時御宿小学校の校長をしておられた伊藤鬼一郎先生が、毎年使用される教科書を保存し比較研究されようとしたのがその始まりです。

先生は初等教育が次の時代を背負ってゆく少年少女にいかん重要であるかを早くから認識されていきました。特に世界が平和の中に共

存してゆくには、まだ天使のような清い心の幼い時に正しい教育をすることが不可欠なのだということとを第一次世界大戦（一九一四年〜一九一八年）の後に痛感され、そのためには、単に日本だけでなく世界の初等教科書を集めて比較研究し、このことを広く世界に呼びかけてゆこうと考えられたのでした。

第二次世界大戦（一九三九年〜一九四五年）がその後勃発し、太平洋戦争で日本が悲惨な体験をしたことを想い起こすと、先生の考えは極めて先見性に富んだものであったといううことがおわかりになることでしょう。

# 小規模共済制度で 事業主も 退職金を



小規模企業共済制度に関心を持ちましょう。

この制度は、小規模企業共済法に基づいて創設された小規模企業者のための共済制度で、掛金全額が所得控除になる特典をもつ制度です。

従業員の退職金は、いまや常識ですが、事業主でも退職するときにあります。たとえば、第一線を引退し老後を楽しみたい、自分に万一のことがあったとき、経営のつごうによる工場や商店の閉鎖など、いろいろな場合があります。

このような事態が起こったときに備えて事業主の生活安定をはかる退職金制度、それが、国でつくりだした企業共済制度です。

## 制度の特色

### ① 掛金は全額が所得控除

掛金は全額が小規模企業共済など掛金控除として、そっくり課税対象から控除されます

### ② 共済金は退職所得扱い

共済金、準共済金、解約金は、退職所得として取扱われますので控除が非常に大きくなっています

### ③ 安全・確実

共済金額は法律によって定められており、その支払いも政府が最後まで責任をもっておりますので安全・確実です

### ④ 貸付制度

一年以上掛金を払い込んだ加入者は、その範囲内で即日、簡易に事業資金の貸付けが受けられます

## 企業共済の内容

### △ 加入資格

常時使用する従業員 二十人（商業とサービス業では五人）以下の事業主および会社や企業組合、協業組合の役員の方々です。ひとり、あるいは家族だけで事業を営んでいる方、また自由業の方も加入できます。

### △ 掛金

毎月一口五百円から二十口一万円まで、加入後の増・減額もできます。

### △ 共済金の支払い

共済金 A  
○ 個人事業をやめたとき（死亡を含む）

○ 会社や企業組合などの法人役員が解散をやめたとき  
共済金 B

○ 役員が病気、ケガをやめたとき（死亡を含む）

○ 六十五歳以上で二十年以上掛金を払っているとき（老齢給付）

### 準共済金

○ 個人事業を会社組織にかえてその役員にならないとき（金銭以外の資産を出資した場合です）

○ 個人事業を配偶者や子に譲ったとき

○ 役員が疾病・負傷・死亡あるいは解散以外の理由で退職したとき（たとえば役員の変更や任期満了などです）

## 青色申告をしませんか

### 記帳がごく簡単に税金も安く

茂原税務署では、いま青色申告の普及を積極的に進めています。いままで、青色申告は記帳がむずかしいとの声がありました

が、最近の改正で、年間所得三百万円以下の場合、家計簿の記帳のできる方ならだれにもでもできる

「現金式簡易帳簿」を一冊だけつければよいというように簡単になっています。

まだ青色申告をしていない方には、税務署から申請書の用紙が送られていると思いますが、この機会にぜひ青色申告をされて、税法

にもとずく節税を考えてはいかがでしょうか。

なお、申請書は、役場の税務係商工会、青色申告会、税務署のいずれにお出しただいても結構です。申請は、来年の三月十五日まで受け付けています。

なお、町では、青色申告を推進するため「青色申告宣言の町」として、広くこの制度を呼びかけていきます。現在、当町の青色会員は百三十四人で、除々に増える傾向にあります。



テレホンサービス  
を二存知ですか？

電話局では「電話のじようすなかけ方・エチケット」などを内容とする案内をテープにより行っています。  
どこからかけても無料です。  
どうぞご利用ください。

# 寄付、接待は違法

## 選挙法改正 金がかからぬ選挙へ

政治家や候補者などに、金をつかわせないようにしなければなりません。

今回の公職選挙法の改正で、選挙区内の人に寄付をすることは全面的に禁止されました。政治家や候補者は、選挙に関係あるなしにかかわらず、つぎのような贈物をすると法律違反になります。

また、有権者も、政治家や候補者などにこのような寄付をねだったりしてはいけません。立派な政治家を育てるように有権者も心がけましょう。

- △ お中元やお歳暮を贈ること
- △ お祭りのときにお金を寄付したり、お酒などを届けること
- △ 開店祝いや落成式、起工式などのときに、花輪を贈ること
- △ 出産・入学・卒業・就職などのお祝いに、お金や品物を贈ること
- △ 結婚式のときに、お祝いのお金や品物を贈ること

物などを贈ること

△ 町内会や老人会などの集まりに、お金を寄付したり、食事やお金を届けること

△ 町内会などの団体旅行と際、弁当や飲物をさし入れたり、バス代などの費用を負担すること

△ 選挙区からの陳情者などに、食事や飲物をだしたり、おみやげなどをあげること

## ガラス張りの政治資金に

政治をよくするためには、政党や政治団体の活動が、国民の不断



お中元やお歳暮

の監視と批判のもとに行われなければなりません。そのためには、政党などの台所を国民の前にガラス張りにすることが必要です。また、政治に不当な圧力をかけさせないために、政党などへの寄付には節度をもたせる必要があります。このようなねらいで、政治資金規正法が改正されました。

## きれいな選挙を

わが国の歴史にとって、ことしは意義深い年に当たります。明治二十三年に国民がはじめて国政に参加してから八十五年。大正十四年に二十五歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた「普通選挙法」ができてから五十年。昭和二十年

に婦人にも参政権が与えられてから三十年。多くの人の苦勞があつて、こんにちのような立派な選挙制度になりました。いまこそ、選挙を通して政治に参加することの意義を考え、きれいな選挙を心がけるよい機会です。

## 花たば

# ケヤキのように大きく育てて 鈴木さんが保育園へプレゼント



保育園の庭先に植えられたケヤキが若い芽をだした。

「ケヤキ」の木のように大きくじょうぶに育ててください。こんな願いをこめた心暖まる贈り物をしてくれた人がおります。

高山田の鈴木茂雄（鈴木造園）さんは、御宿保育園の庭に三本のケヤキの木を贈ってくれました。

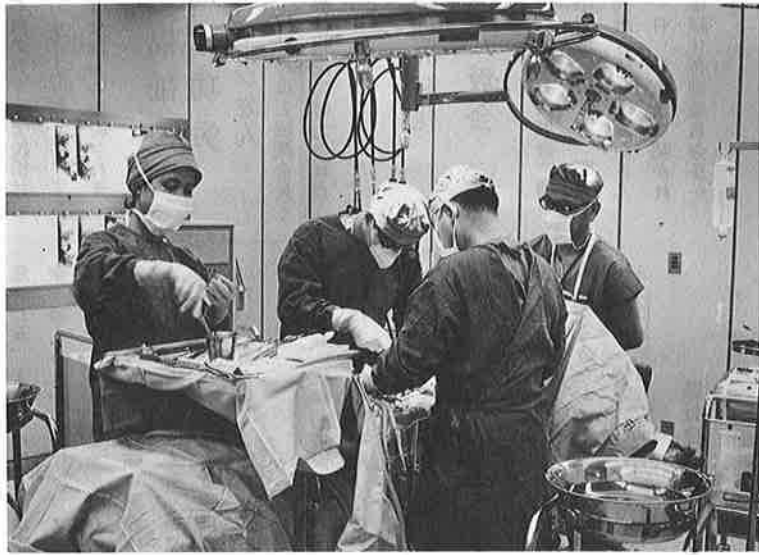
保育園では、庭で遊ぶ園児に日蔭が欲しいとを考え、裏庭にある木

の移植を思いつき、鈴木さんに相談したところ、大きな枝をはり、日をさえぎってくれるケヤキが、いいだろうとさっそく三本持ちより、けんめいに手入れをして、移植に成功しました。園児たちも保護さんのあたたかい指導で、「ケヤキ」の木のようにすくすく育ってほしいものです。



# 献血にご協力有難とう

## 血液は人間にとって命の綱です



は、おたがいに健康な時に献血する以外にありません。町でも、この相互扶助の精神に基づき、九月三十日、公民館で献血をしたところ、つぎの方々からご協力を頂きました。

### 須賀区

須賀四八五 鶴岡富子 A

須賀五一三 千葉泰弘 O

久保二四七九の二 松井敏行 O

浜一七一五 三上信雄 O

須賀六八〇の七 中里導枝 A

須賀五七二 三矢信義 O

須賀五七八 神定みち枝 A

須賀五六九 神定正寿 A

須賀一九三 伊藤竹子 A

### 浜区

浜四四九 浜野よね ABAB

浜四四九 浜野八重子 ABAB

浜一七二二 石井一恵 B

### 高山田区

高山田一〇七二 滝口和広 B

高山田一四七九 岩瀬 正 A

久保五九八の一 嶋田敏通 A

高山田一〇五八 滝口下枝 A

高山田八〇五 井上浩一 B

### 久保区

久保二〇三一 井上千太郎 O

久保一九五八 岩瀬まつ AB

久保二〇三六 渡辺節子 A

久保二〇二八 岡村甲純 A

久保二〇二八 岡村良子 A

新町区

新町七三九 中島マサ子 O

新町四九四 佐久間真利子 A

新町四一七 植村政信 O

新町四六六 越川健男 AB

新町二七三 三上昶男 A

新町二二二 井上早苗 O

新町二七六 村田やえ子 A

新町五九〇 綱島 勝 O

新町二七三 三上悦子 AB

新町二七六 村田栄一 A

新町四八二 内山 浩 B

新町四一七 青木健二 A

新町五三三 吉野二三 A

新町四九九 斉藤千枝子 O

新町四五〇 田村とし O

新町四九四 大林 茂 A

新町四九四 中村信子 O

新町二七二 神定知枝 AB

新町七四八 吉野敏行 O

新町八一三 加藤陽子 B

新町四九四 吉野弘子 B

新町四八二 内山理恵子 B

新町二三一 鈴木隆子 O

新町七四八 吉野民子 A

新町四九四 君塚和子 A

新町五五〇の一 小川春枝 O

六軒町区

六軒町三六六 田中とよ子 O

六軒町四九〇 米良勝子 A

六軒町四八八 宮下洋子 A

六軒町四八六 川島せん A

岩和田区

岩和田九九〇 金井紀美男 B

岩和田九四〇 野村幸枝 B

岩和田九五四 吉野和子 A

実谷区

実谷一〇三二 君塚和義 O

実谷一八一 君塚みき子 AB

七本区

七本四一 吉田正子 O

七本四一 吉田和啓 O

七本三八六 吉田洋子 O

上布施区

上布施二〇七 佐藤喜久夫 O

上布施三六三 佐藤栄子 A

上布施八一〇 高橋敬乃 O

町外者

勝浦市大森 松崎多津江 B

勝浦市沢倉 野口 泉 O

勝浦市新官 亀田三枝 O

勝浦市新官 恋塚静枝 O

勝浦市新官 上村節子 B

勝浦市川津 吉清美恵子 O

大原町高谷 朝倉広子 O

大原町小池 塚本栄子 A

大原町小池 関谷重子 O

勝浦市部原 渡辺きよ子 O

勝浦市部原

勝浦市部原

人間がこの世に生れ、一生を終るまで一分たりとも休むことなく体内に血液を送り、栄養の補給活動を続けています。

この貴重な血液を一時に多量に失うと生命を失うことになりま

は、どうしても失われた血液を補わなければならない。いくら科学が発達した現在でも、血液にかわるものがなく、人間の血はやはり人間の血が必要です。

そこで皆さんが必要な時に必要な血液を手に入れるようにするに

# 表彰

## 六軒町老人クラブ

十一月四日開催の千葉県老人クラブ大会の席上、優良老人クラブとして、六軒町老人クラブ（会長松井幸吉、さんら五十人）が千葉県老人クラブ連合会長から表彰されました。

## 母子福祉の推進に功労

### 関 トシさん

千葉県母子福祉推進員協議会会長から、母子福祉推進に努力されたことが認められ表彰されました。

## 公共用地の緑化

### 運動で八坂会

郷土緑化秋季大会で八坂会（神定与一、田中岩雄、石井実、渡辺嘉重、鶴岡秀雄さん）のみなさんが十月三十一日、千葉市で開かれた大会で、県緑化推進委員会会長から表彰されました。

自分たちの住む町を少しでもきれいにしようという心で、四十七年から毎年、桜の苗木を公共用地などに植えつけてきました。

## ものしり手帳②

### 自然食品の毒性

ふつう、加工食品の添加物は危険だが、天然・自然食品は安全と考えられがちです。フグの内臓や毒キノコ、じゃがいもの芽のソラニンなどに強い毒性のあることはむかしから知られていますが、それ以外の食物はだいたい無害ということになっていきます。

しかし、経験的に安全という判断は、急性中毒を起こさない

というだけのものかもしれない。慢性毒性については、まだわからないことが多いのです。

最近、ワラビやミョウガから発ガン物質が検出されたり、野菜のカブには体内で発ガン物質にかわる物質が含まれているとか、キャベツ、カリフラワー、芽キャベツなどに甲状腺腫瘍を起こす物質が含まれていることなどがわかってきました。しかし、たとえ毒性があるとしても、その量が非常に少ない場合、そのまま危険性につながらないものではないかもしれません。ふつうの食生活をしているかぎりではまったく害がないといえましょう。

### 玉田初子民生委員も

#### 県社会福祉大会で

十月三十日、千葉市民会館で、第二十五回千葉県社会福祉大会

が開かれ、玉田初子（岩和田）民生委員が、千葉県社会福祉協議会長から表彰されました。

## 子どもと老人“赤信号”



交通ルールを勉強するお年寄り

交通事故の発生状況を見ると、昭和四十五年以来、死傷者数は減少の一途をたどり、とくに昨年は

史上最高の減少率を示しました。しかしながら、死亡事故発生状況の内容をみると、子どもと老人の事故率は、他の年齢層に比べ、依然として高い水準にとどまっています。

町老人クラブや安全協会では、おとしよりを対象とした、交通安全教室を開き、交通ルールの説明や横断歩道の渡り方、雨の日の注意など、基本的なことを勉強しています。また、交通安全対策協議会から送られた黄色い杖をたよりに安全な歩行を心掛けようと、みんなに呼びかけています。

車を運転するみなさん、おとしよりや子どもを見たら赤信号だと思つてスピードを落とし、安全運転に努めましょう。

町では、交通戦争から町民の生命、財産を守るために、交通安全対策について研究をし、事故防止に努める姿勢を打出します。



おめでた

十月 男3 女5 計8  
区 出生児 性別 保護者  
久保 井上貞澄 女 隆

### おくやみ

区	死亡者	年齢	死亡日
須賀	露崎祐子	1	10月1日
浜	松本はつ	76	10月18日
高山田	井上廣治	56	10月2日
久保	中村りん	63	10月8日
"	松本秀子	50	10月21日
新町	石川奈津子	47	10月20日
"	市東一郎	82	10月28日
六軒町	板垣あき	78	10月27日
岩和田	加藤久雄	62	10月6日
"	加田かね	86	10月19日
"	東岩庄一郎	44	10月22日

### 人口（11月末現在）

人口	前月との比較
男 三九五八	△十四
女 四四六一	
計 八四一九	△十
世帯数 二二四二	三

発行所 千葉県御宿町役場

発行責任者 岩井敏夫

編集者 加藤長